

はじめての世界と出会う一冊

令和8年度埼玉県推奨図書

乳幼児向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに
読んでほしい図書を薦めています■

ほら、トラがいる！



フィリップ・アーダ/文
デイヴィッド・メリング/絵
なががわちひろ/訳
BL出版

地下鉄に乗ったペニーは乗客の中にトラがいることに気が付きますが大人には見えません。しばらくして隣の席の子がぬいぐるみを落として列車を降りてしまいます。そこでペニーとトラは協力してその子にぬいぐるみを返そうとして…。不思議な出会いのお話です。

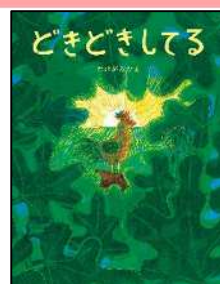
まってまって おうちくも



稲垣あきら/作
須黒達巳/監修
理論社

こうくんは、おうちのなかでちっちゃなくもを見つけました。よくみるとおおきなめだまがきらきら。おいかけると、ぴょん!とジャンプ。かべやてんじょうをつたってにげていきます。実は一番身近な虫、「ハエトリグモ」との交流を描いた絵本です。

どきどきしてる



たけがみたえ/著
偕成社

どきどきしてる。にわとりは、朝一番に大きな声をだしたとき。さなぎは、もうすぐ蝶になりそうなとき。山は、おひさまがあたたかくて、どきどきしてる。動物や植物たちのいのちの音がきこえてくるよ。あなたはどんなときに、どきどきしてる？

はるをみつけたよ



平野恵理子/作
福音館書店

つくしんぼう、小さな花、ねこのあくびに、たけのごはん。あたたかい季節になると出会えるね。ほかには、どんなものがあるかな？春になると見られるお花や生き物、おいしいお菓子たち！春を見つけるのが楽しくなる絵本です。

くだもの らららん



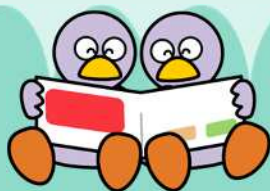
金内織恵/作
童心社

「ゆさゆさのびのび はっぱのなかに つやつやまっか らららんらららん」。このくだもの、なあに？こたえはりんご。かわをむいてたべましよう。リズムカルな文章が耳に心地よく、リアルに描かれたくだものに思わず手をのびたくなります。

くだものが好きな2歳の娘とおいしくいただいた1冊。
りんご、みかん、ばなな、めろんにすいか。くだものが収穫される前の姿が描かれ、「とってとってくだもの」と誘います。娘と一緒に手に取って「あむっ!」といただきました。全体的にリズムカルな文章なので歌うように楽しみました。絵も写実的で本当においしいそう！食欲をそそられます。

小川町在住

2歳児母親



埼玉県マスコット
「コバトン」

問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課

✉ a2905-01@pref.saitama.lg.jp

☎ 048-830-2907

図書一覧はこちら

